



## 2019年3月期 第2四半期 決算説明会

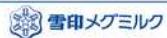
2018年11月8日

日頃は皆様から、多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、北海道胆振東部地震をはじめ、今年発生しました台風や豪雨、地震などの自然災害で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

## 本日の内容

- 1 連結業績結果 (2019年3月期中間期)**
- 2 連結業績予想 (2019年3月期通期)**
- 3 事業別取組**
- 4 中期経営計画の進捗**



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

1

## 1 連結業績結果～2019年3月期中間期～

(億円、%)

|      | 2018年3月期<br>(上期) | 2019年3月期<br>(上期) | 増減額 | 前期比   | 予想比   |
|------|------------------|------------------|-----|-------|-------|
| 売上高  | 3,035            | 3,053            | +18 | 100.6 | 99.1  |
| 営業利益 | 110              | 95               | ▲14 | 86.6  | 98.8  |
| 経常利益 | 117              | 102              | ▲15 | 87.0  | 102.5 |
| 純利益※ | 71               | 64               | ▲7  | 89.4  | 90.5  |

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- ▶ 前年同期比：増収減益
- ▶ 当初予想比：概ね当初予想通りの着地



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2

### 【連結業績結果(2019年3月中間期)】

上期の連結業績結果については、  
売上高では、ヨーグルトや機能性食品の販売拡大などにより  
増収となりました。  
営業利益では、原料乳価格や物流費などのオペレーションコストの  
増加などにより減益となりました。

当初予想比では、売上高99.1%、営業利益98.8%となりました。  
地震や台風などによる影響があったものの、概ね当初予想どおりの  
着地となりました。

## 1 連結業績結果～地震などの影響～

### 【上期における影響】

|      |                 |
|------|-----------------|
| 営業利益 | 約2億円の減          |
|      | ■販売機会の喪失など 約2億円 |
| 特別損失 | 約6億円            |
|      | ■原材料・仕掛品廃棄 約4億円 |
|      | ■設備復旧費用 約2億円    |



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

3

### 【連結業績結果（地震の影響）】

地震などの影響について説明します。

当中間期においては、北海道胆振東部地震などの自然災害により、営業利益段階で、約2億円の減の影響がありました。内容としては、販売機会の喪失などです。

また、特別損失として約6億円を計上しました。内容としては、製造途中にあった原材料及び仕掛け品の廃棄で約4億円、工場設備の復旧費用として約2億円などです。

## 2 連結業績予想 ~2019年3月期通期~

(億円、%)

| ■ 経営成績 ■ | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 増減額 | 前 期 比 |
|----------|----------|----------|-----|-------|
| 売上高      | 5,961    | 6,050    | +88 | 101.5 |
| 営業利益     | 193      | 190      | ▲3  | 98.1  |
| 経常利益     | 209      | 200      | ▲9  | 95.3  |
| 純利益※     | 133      | 135      | +1  | 100.9 |

※親会社株主に帰属する当期純利益

### ■ 配 当 ■

|      |     |        |       |
|------|-----|--------|-------|
| 普通配当 | 40円 | 連結配当性向 | 20.1% |
|------|-----|--------|-------|



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

4

### 【連結業績予想（通期）】

通期の連結業績予想については、  
5月に公表した業績予想を据え置き、売上高6,050億円、  
営業利益190億円、配当につきましても、40円と変更していません。

今年度の取組みを徹底し、通期目標の達成を目指していきます。

### ③ 事業別取組～2018年度重点取組～

収益基盤の複数化

キャッシュフローの最大化

チーズ・ヨーグルト等の販売拡大

プロダクトミックスの改善

価格改定・容量変更の実施



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

5

#### 【事業別取組　（2018年度の重点取組）】

今年度は、昨年度からスタートした3年計画である中期経営計画の2年目となります。

チーズ・ヨーグルトなどの販売拡大やプロダクトミックスの改善などの取組みに加え、チーズについての価格改定・容量変更を実施するなど環境変化に対応しています。

これらにより、「収益基盤の複数化」、「キャッシュフローの最大化」に取組んでいます。

### 3 事業別取組 ~4つの事業分野~



#### 1. 乳製品事業分野

バター、油脂、  
チーズ（国内・海外）



#### 2. 市乳事業分野

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、  
果汁・野菜・清涼飲料、  
デザート



#### 3. ニュートリション事業分野

粉ミルク（国内・海外）、  
機能性食品など



#### 4. 飼料・種苗事業分野

飼料、  
種子（牧草・飼料作物・野菜）、  
造園など



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

6

### 3 事業別取組～乳製品事業分野～



2018年度上期業績結果

#### 乳製品セグメント

※ニュートリション事業を含む

(億円、%)

|      | 上期実績  | 前期比  | 予想比   | 通期予想  | 前期比   |
|------|-------|------|-------|-------|-------|
| 売上高  | 1,174 | 99.7 | 98.7  | 2,440 | 101.8 |
| 営業利益 | 53    | 95.0 | 105.3 | 119   | 98.1  |

- ▶ バター：安定供給の継続
- ▶ 油 脂：トランス脂肪酸低減の取組み
- ▶ チーズ：価格改定及び容量変更の実施



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

7

#### 【事業別取組（乳製品事業分野）】

乳製品事業分野を中心とする乳製品セグメントは、減収減益となりました。

バターは引き続き、安定供給に取り組みました。  
油脂は、トランス脂肪酸低減に取組み、売上の確保に努めました。

### ③ 事業別取組～上期の実績・課題（チーズ）～



#### ▶ 原料乳価格の引き上げ等のコストアップ対応

価格改定： ①プロセスチーズ群 35品（改定率：4.8～17.2%）

②ナチュラルチーズ群 24品（改定率：4.3～6.4%）

容量変更： ナチュラルチーズ 3品（変更率：-14.3%）



#### ▶ 下期の取組み課題

##### ■ 新価格帯の定着とさらなる需要喚起



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

8

#### 【事業別取組み（上期の実績・課題（チーズ））】

重点カテゴリーであるチーズの上期の取組みについては  
5月1日に、原料乳価格の引き上げや、物流コスト、  
労務費のコストアップに対応するため、  
家庭用チーズの価格改定ならびに容量変更を実施しました。

結果として、上期のチーズ売上高は前年同期比97.5%となりましたが、震災の影響を考慮すると、概ね想定通りであったと考えています。

しかしながら、価格訴求型の商品群では競争が激しくなっており、下期に向けてはさらなる需要喚起に取組みます。

### ③ 事業別取組～下期の取組（チーズ）～



#### ▶ 需要喚起による販売拡大

新しい食べ方提案による  
需要喚起

スライス  
チーズ  
新CM



機能的価値を訴求した  
店頭プロモーションの展開



< 低糖質・高たんぱくプロモーション >



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

9

#### 【事業別取組み（下期取組（チーズ））】

具体的な取組みとしては、スライスチーズなどの新たな食べ方提案により、需要喚起を図ります。

また、機能的価値を訴求した店頭プロモーションを展開します。

チーズが低糖質かつ高たんぱくな食品であることを訴え、最需要期である冬に向け、さらなる需要喚起を図ることで、通期の売上達成を目指します。

### 3 事業別の取組～市乳事業分野～



2018年度上期業績結果

#### 飲料・デザート類セグメント

(億円、%)

|      | 上期実績  | 前期比   | 予想比  | 通期予想  | 前期比   |
|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 売上高  | 1,452 | 100.9 | 98.8 | 2,800 | 101.6 |
| 営業利益 | 22    | 64.0  | 79.4 | 49    | 102.9 |

- ▶ ヨーグルト：ガセリ菌ＳＰ株ヨーグルトの販売拡大
- ▶ デザート：新デザートライン（ルナ物産）の活用



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

10

#### 【事業別の取組（市乳事業分野）】

市乳事業分野についてです。

市乳事業に該当する飲料・デザート類セグメントは、増収減益となりました。

当社保有の乳酸菌「ガセリ菌ＳＰ株」の機能訴求に継続して取り組み、ヨーグルトカテゴリーでは前期比106.0%と市場の伸びを上回る売上となりました。

### 3 事業別の取組 ~上期の実績・課題(ヨーグルト)~



▶ 京都工場稼動に伴う機能性ヨーグルトの販売拡大

▶ ガセリ菌SP株ヨーグルトのトクホ化、  
新商品発売により拡売

2018年3月

- ・京都工場新ライン増設
- ・個食タイプのトクホ化
- ・ドリンクタイプのベリーミックス発売



2018年7月



個食タイプの  
ベリーミックス  
発売

上期実績



売上高前期比約1.3倍



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

11

#### 【事業別取組（上期の実績・課題（ヨーグルト））】

重点商品の「ガセリ菌SP株ヨーグルト」の上期の取組みについては  
ドリンクタイプは、今年3月に京都工場の生産能力を増強しました。

また、個食タイプについては、同じく3月に特保の表示許可を取得するとともに、7月に新商品としてベリーミックスを発売し、合計で6品体制としました。

テレビCMの投入や店頭展開による、認知拡大と販売強化に努めました。

これらにより、上期は「ガセリ菌SP株ヨーグルト」商品群で前期比約1.3倍の売上高となりました。

### ③ 事業別の取組～下期の取組（ヨーグルト）～



#### ▶ ガセリ菌SP株ヨーグルトの販売拡大

ラインナップ強化による  
ターゲットの拡大



ラインナップ強化

多様なコミュニケーションと  
売り場での連動



交通広告



売場



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

12

#### 【事業別の取組（下期の取組（ヨーグルト））】

「ガセリ菌S P 株ヨーグルト」の下期の取組みについては、  
9月にドリンクタイプの新たなフレーバーのマスカット味を発売し、  
ラインナップを強化しました。

また、多様なコミュニケーションと連動し売場での露出を増やすこと  
により、更なる売上拡大に取組みます。

### 3 事業別の取組～下期の取組（デザート）～



#### ▶ デザートの商品開発強化

- ・個食新商品の開発・生産の取組強化
- ・差別化された新ブランド投入

#### 春 生産体制整備



ルナ物産外観

デザート  
シェアNO.1 へ！

#### 秋 差別化された個食タイプの強化

- 新ブランド投入  
チーズmeetsスイーツ  
4種のチーズブレンド

- 既存シリーズ刷新



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

13

#### 【事業別の取組み（下期の取組（デザート）】

市乳事業分野におけるプロダクトミックス改善のもう1つの取組みであるデザートについて説明します。

チルドデザート市場はコンビニデザートなどのフレッシュデザートの伸長により、微減傾向にありますが、その中にあって個食タイプは安定的に推移しています。

今年3月に、デザートラインを新設するとともに、競争力のある差別化された個食デザート開発の取組みを強化し市場でのシェアNO.1を目指します。

### ③ 事業別の取組～ニュートリション事業分野～



2018年度上期業績結果

#### ニュートリション事業

※乳製品セグメントのうち

(億円、%)

|       | 上期実績 | 前期比   | 予想比  | 通期予想 | 前期比   |
|-------|------|-------|------|------|-------|
| 売上高   | 97   | 101.4 | 91.5 | 220  | 113.2 |
| (内訳)  |      |       |      |      |       |
| 機能性食品 | 23   | 111.0 | 92.0 | 54   | 125.5 |
| 粉ミルク等 | 74   | 98.8  | 91.3 | 166  | 109.7 |

- ▶ 機能性食品：「毎日骨ケアMBP®」の販売拡大
- ▶ 粉ミルク等：母乳研究を軸とした独自性商品の販売強化



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

14

#### 【事業別の取組（ニュートリション事業分野）】

ニュートリション事業分野についてです。

乳製品セグメントのうち、ニュートリション事業分野の売上高は、前期比101.4%と増収となりました。

機能性食品は、毎日骨ケアM B Pを中心販売が伸び、前期比111.0%となりました。

### ③ 事業別の取組～機能性食品（ニュートリション）～



#### ▶ ベルネージュダイレクト株式の追加取得 に向けた基本合意書の締結

##### 【基本合意の内容】

■ベルネージュダイレクト株式、6,648株の追加取得

##### ＜議決権比率＞

|         | 変更前   | 変更後   |
|---------|-------|-------|
| 雪印メグミルク | 33.4% | 66.6% |
| 千趣会     | 66.6% | 33.4% |

##### 【スケジュール】（予定）

2018年12月下旬 株式総数引受契約  
株式譲渡契約書締結

2019年1月上旬 第三者割当増資による株式取得  
株式譲渡による株式移転

Belle Neige Direct  
ベルネージュダイレクト



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

15

#### 【事業別の取組（機能性食品（ニュートリション）】

ニュートリション事業分野は、中期経営計画の成長戦略の重要な分野です。

事業基盤を更に強化するため、10月12日「毎日骨ケアMBP」などを扱う通販会社、「株式会社ベルネージュダイレクト」の株式、6,648株の追加取得に関し、「最終契約に向けた基本合意」の締結を発表しました。

これにより、機能性食品事業の成長モデル構築に向け、より一層取り組みを強化します。

### 3 事業別の取組 ~飼料・種苗事業分野~



2018年度上期業績結果

#### 飼料・種苗セグメント

(億円、%)

|      | 上期実績 | 前期比   | 予想比   | 通期予想 | 前期比  |
|------|------|-------|-------|------|------|
| 売上高  | 239  | 101.4 | 101.7 | 440  | 98.4 |
| 営業利益 | 12   | 89.6  | 110.5 | 10   | 74.0 |

- ▶ 種苗事業：新研究棟の活用による商品開発の継続的取組み
- ▶ 飼料事業：持続可能な酪農経営に貢献する総合提案型営業の推進



Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved.

16

#### 【事業別の取組み（飼料・種苗事業分野）】

飼料・種苗事業分野の業績です。

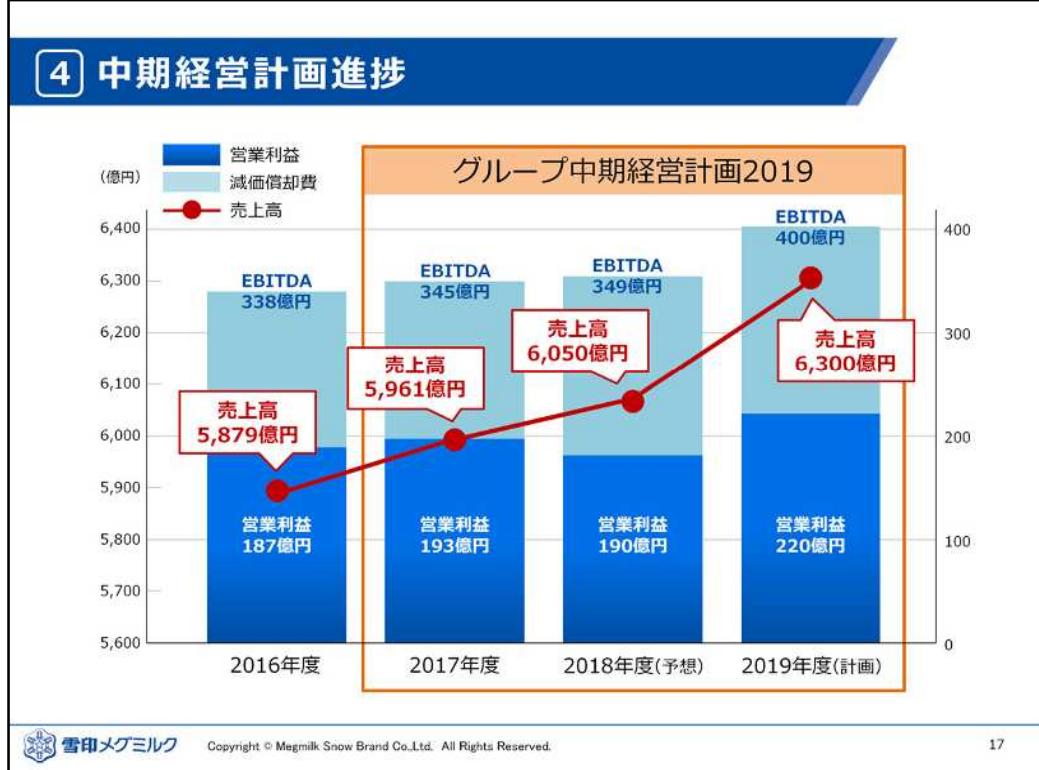
上期は売上高101.4%、営業利益89.6%と増収減益となりました。

種苗事業では、今年度の取組事項としてかかけた新研究棟を活用した、継続的な商品開発に取り組みました。

飼料事業では、持続可能な酪農経営に貢献する、総合提案型営業を引き続き推進しました。

中期経営計画に沿って、今後も着実な事業運営を図ります。

#### 4 中期経営計画進捗



#### 【中期経営計画】

「グループ中期経営計画2019」の進捗についての確認です。

「グループ長期ビジョン2026」の第1ステージにあたる今上期は、概ね当初予想通りの着地となりました。

下期においても、これまで説明いたしました取組みの徹底により、通期目標の達成を目指します。

また、第2ステージ以降の生産体制のRenewal(進化)に向け、今後も収益基盤の複数化、キャッシュフローの最大化に取組み、中期経営計画の達成を目指します。

未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。